

[衛生指導課業務]

県並びに生産者団体及び畜産関係団体等と連携を強化しながら、自衛防疫の推進を図り、家畜伝染病予防に係る以下の事業を行った。

1) 補助・助成事業

(1) 独立行政法人農畜産業振興機構事業

① 家畜防疫互助基金支援事業

豚コレラ、口蹄疫等の海外悪性伝染病が発生した場合、飼養家畜のとう汰に伴う損失を生産者等が互助補償する仕組みを支援するため、生産者等に対し、事業の加入推進・普及・連絡調整等を行った。

家畜防疫互助事業生産者積立金状況

乳用牛・肉用牛

(平成 29 年 3 月末現在)

	家畜の種類	戸数	頭数	積立金額
乳用牛	24 ヶ月齢以上	41	5,321	1,250,435
	24 ヶ月齢未満	27	1,131	107,445
肉専用種繁殖雌牛	24 ヶ月齢以上	26	1,121	252,225
肉専用種繁殖雌牛 肉専用種肥育牛	24 ヶ月齢未満	114	23,792	2,617,120
肉専用種と乳用種 の交雑肥育牛		18	2,750	288,750
乳用種肥育牛		5	328	31,160
計		231	34,443	4,547,135

豚

(平成 29 年 3 月末現在)

	家畜の種類	戸数	頭数	積立金額
家族型	繁殖用種豚(雌)	23	3,748	449,760
	繁殖用種豚(雄)	20	172	20,640
	肥育豚	22	28,480	854,400
企業型	繁殖用種豚(雌)	6	4,053	506,625
	繁殖用種豚(雄)	6	93	11,625
	肥育豚	6	30,897	1,081,395
計		83	67,443	2,924,445

※戸数は延べ戸数です。

(2) 国庫事業

① 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業

BSE (牛海綿状脳症) 検査機関に職員を配置し、BSE の発生予防のため、県との

連携の連絡を密にし、BSE 検査及び死亡牛の適正な処理を推進した。

また、県、生産者団体、化製業者、死亡獣畜取扱業者等からなる協議会を開催し、事業を推進した。

死亡牛検査処理状況

区 分	計 画	実 績	備 考
48 ヶ月以上	360 頭	263 頭	内補助対象外 1 頭 内検査のみ 2 頭
24 ヶ月以上 48 ヶ月未満	0 頭	283 頭	
7 ヶ月以上 24 ヶ月未満	0 頭	172 頭	
7 ヶ月未満	0 頭	205 頭	
合 計	360 頭	923 頭	

② 家畜生産農場清浄化支援対策事業

a) 疾病清浄化支援対策

(a) オーエスキー病の清浄化対策

県内のオーエスキー病の清浄度を維持するため、出荷予定種豚及び清浄農場が他の都道府県から導入した種豚の抗体検査に要する経費を助成し、清浄種豚の流通促進を図った。

オーエスキー病検査状況 9年3月末現在)

対象農家	計 画	実 績
27 戸	1,040 頭	1,084 頭

(b) 牛白血病対策

牛白血病の感染拡大を防止するため、発生農場等での検査に要する経費の助成を行った。

(3) 公益社団法人中央畜産会事業

① 家畜衛生体制強化基金事業

鳥インフルエンザ防疫研修会を共催した。また、東海ブロック会議(衛生)を当県で開催した。

2) 受託事業

(1) 公益社団法人中央畜産会

① 農場 HACCP 認証支援地域強化促進事業

a) 普及推進協議会

地域における畜産関係団体、農場 HACCP 関係者で普及推進の検討を行い、普及推進のため方策の周知、農場の取組の周知など活動した。

b) 農場 HACCP 認証構築指導推進支援

農場 HACCP 認証基準に基づき、構築支援、地域の取組事例における内部検証や衛生管理システムの構築、運用など課題について検討した。

② 農場 HACCP 認証審査体制基盤緊急整備事業

a) 地域認証推進のモデル実証

地域における農場等を対象とし、認証基準の概要、HACCP 構築、認証審査制度について説明会を開催した。

b) 認証農場の成果の検証

地域の取組事例における内部検証や衛生管理システムの構築、運用など課題について検討した。

③ 馬インフルエンザ等防疫強化特別対策事業

a) 馬防疫強化地域推進対策事業

在来馬等馬伝染性貧血の清浄化を図るため、必要な基礎情報を得るために検討会を開催した。

④ 馬インフルエンザワクチン接種推進事業及び馬鼻肺炎ワクチン接種推進事業

a) 馬防疫強化地域推進対策

馬ワクチン接種等地域推進対策検討会を開催し、乗用馬、農用馬等を対象とした馬インフルエンザワクチン接種の推進の検討をした。

b) 馬インフルエンザワクチン接種推進事業

競走馬以外の乗用馬、農用馬等に馬インフルエンザワクチン接種を行った。

馬インフルエンザワクチン接種頭数

対象乗馬クラブ	計 画	実 績
9 戸	125 頭	87 頭

⑤ 豚流行性下痢 (PED) まん延防止体制支援強化事業

a) PED 地域対応推進会議

地域の農場、獣医師、関係団体等に PED の専門家を加えたものを構成員とする会議を開催し、地域の状況に応じた効果的な防疫指導を実施方策として、豚流行性下痢防疫マニュアル・飼養衛生管理基準の基づいた地域防疫計画を作成した。

b) PED まん延防止衛生指導対策

繁殖母豚飼養農場の半数について豚流行性下痢防疫マニュアルに基づき、PED 地域対応推進会議で作成した計画に基づき、獣医師による衛生管理点検指導を行い、衛生状況を確認した。

(2) 家畜衛生対策推進協議会事業

① 自衛防疫体制強化推進事業

a) 地域自衛防疫強化推進事業

地域自衛防疫体制の確認、防疫演習等の有効な活動方策、慢性感染症の対策の推進、飼養衛生管理基準の啓発・普及等自衛防疫体制強化推進等の検討等を行った。

b) 地域自衛防疫活動推進対策

地域の実態に即した自衛防疫活動を畜種別に防疫演習を開催し、地域防疫体制の整備、定着を図った。

c) 慢性感染症清浄化支援対策

牛白血病及び牛マイコプラズマ性乳房炎の清浄化に向けて防疫支援のための検討会、清浄化、普及推進を行った。

d) 飼養衛生管理基準啓発推進対策

農場の飼養衛生管理基準の徹底・啓発等を図るための研修会を開催した。

3) 協会事業

(1) 予防注射事業

鶏マレック病予防接種を実施した。

鶏マレック病予防接種羽数

地 区	計 画	実 績
中 勢	35,000 羽	14,055 羽
南 勢	45,000 羽	10,500 羽
合 計	80,000 羽	24,555 羽

4) 平成 28 年度の主な行事

年	月	日	行 事 内 容	
28	4	27	死亡牛、互助基金事業推進会議	
		5	11	家畜生産農場支援事業説明会議
			12	農場HACCP認証農場育成支援事業担当者会議
	6	17	自衛防疫事業全国会議 東京	
			30	農場HACCP認証支援地域強化促進事業全国会議 東京
		10	自衛防疫事業 飼養衛生管理基準研修会(養鶏)	
			17	自衛防疫事業 飼養衛生管理基準研修会(養豚)
			7	5
	13	防疫事業推進会議		
	25	馬飼養衛生管理特別対策事業全国事業推進会議 東京		
	8	2	農場HACCP認証農場育成支援事業担当者会議	
		22	農場HACCP認証支援地域強化促進事業 構築指導に係る打合せ	
	9	2	高病原性鳥インフルエンザ防疫研修会	
			12	家畜生産農場支援事業牛白血病講習会
		13	自衛防事業 牛白血病、マイコプラズマ性乳房炎検討会	
			28	豚流行性下痢まん延防止事業PED地域まん延防止支援対策会議
		10	18	農場HACCP認証農場育成支援事業担当者会議
				農場HACCP普及推進協議会
			農場HACCP認証制度説明会	
	11	4	農場HACCP認証農場育成支援事業 農場 HACCP 講演会	
			29	飼養衛生管理基準等緊急啓発普及促進事業 改正説明会・防疫演習
		12	15	防疫事業推進会議
			29	18
	31	農場HACCP認証農場育成支援事業担当者会議		
				農場HACCP普及推進協議会
	2	17		農場HACCP普及推進協議会(東海ブロック)
		22		豚流行性下痢(PED)まん延防止支援促進対策会議
		28	自衛防事業 牛白血病・マイコプラズマ病対策検討会	
3	10	家畜生産農場清浄化支援対策事業 BVD-MD 病講習会		
	15	家畜生産農場清浄化支援対策事業 牛ヨーネ病講習会		